

地域のできごと

R5.8



坂城町・千曲市上山田地区での無核ぶどう園地点検の実施

7月10日～14日にかけて、JAながのちくまブロックの坂城町・千曲市上山田地区では、無核ぶどうの園地点検が開催されました。コロナ下であったため集合での開催は3年ぶりで、全地区で50名ほどの参加がありました。内容としては、着房数・着粒数・新梢副梢管理の状況などを点検し、品質向上のためにアドバイスしました。

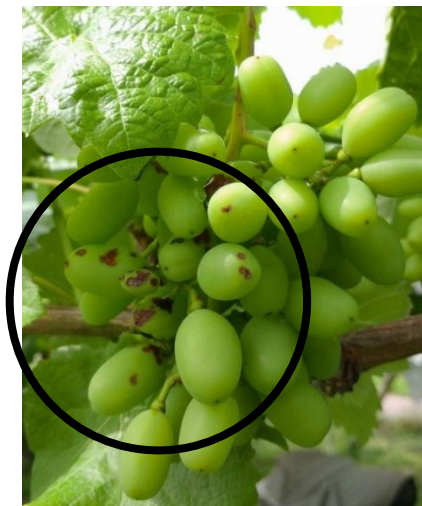
今回担当したのは坂城町南北日名地区で、1チーム4名で3チームに分かれてそれぞれ園地を点検しました。参加者からは、摘粒方法や新梢副梢管理のタイミングなどの質問が寄せられました。当センター畔上普及指導員は実際に摘粒を実演したり（写真右下）、

「新梢副梢は今の時期多く切り落としてしまうと、のちのち縮果症などになってしまうので今は摘粒を最優先に」というアドバイスがありました。農家同士で教え合う場面も見られ、お互いに切磋琢磨しているようでした。品質の良いぶどうの出荷が期待されます！

（地域第二係 野溝）



園地の様子を見ながら普及指導員の話聞く参加者



黒とう病に感染したぶどう



摘粒方法を実演する普及指導員